

不整脈・高血圧の知識学ぶ

不整脈や高血圧の治療法などについて
専門家が講演した県民公開講座「徳島
市の徳島大蔵本キャンパス大塚講堂



徳島大学病院が県民公開講座

不整脈や高血圧をテーマにした徳島大学病院の県民公開講座「健康寿命を延ばして、元気で長生き」(大徳島大学病院脳卒中・心臓病等総合支援センター主催、徳島新聞社など共催)が5日、徳島市の徳島大蔵本キャンパス大塚講堂であった。専門医や薬剤師、管理栄養士の計6人が講演し、オンラインを含む約450人が耳

を傾けた。

心臓血管外科の秦広樹教授は心房細動と呼ばれる不整脈の治療について、大病院は体への負担が少ない内視鏡手術を導入していると紹介。「1時間ほどで手術が終わり、5日程度で退院できる。脳梗塞を引き起こす血栓の発生源を切除するため、今後のリスクはほぼゼロになる」と話した。

循環器内科の川端豊医師は、自覚症状が少ない高血圧に起因する死亡者数が年間10万人と推計されると指摘。血圧を正常値に下げることさまざまな病気のリスクが下がるとして「まずは運動や食事、減塩など生活習慣の見直しが必要。家庭でも血圧を測定して」と呼び掛けた。

薬とサプリメントの違いや血圧を下げる食物などについて質問に答えるパネルディスカッションもあった。(石崎義典)